

第三章

第一節

独自に体系化した東洋医学

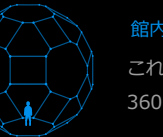
～日本の風土に合った薬草と人工栽培の研究～

江戸時代の往診では、問診^{もんしん}、触診^{しょくしん}、聴診^{ちようしん}などをした後、症状に合った薬をその場で調合して手渡し、食事のアドバイスをするのが通例でした。中国から伝わった薬草の中には、日本の気候や地質では栽培できないものもありました。医師たちは、同じ効能のある薬草を見つけ出し、それを人工栽培するための研究を重ねました。この頃、出版技術が発達し、多くの人たちが読み書きを学びました。日本の風土に合った薬草の知識は、書物にまとめられ、読書を通じて急速に普及していきましました。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.